

Z

1. Zの記憶

ただ歩いてる 両手突き出し
ちぎれた耳が ぶらさがってる

仲間の声が 遠く聞こえる
惹かれるままに 僕も叫ぶ

うちの中が かゆいみたいだ
腐った腕が 外れそうだよ

走りたいのに 足が折れてる
黒い液体が 流れだした

ああ たどり着いた思い出の地
記憶はないが

ああ そこにホラ 脳みそが歩いている
ああ 追いかけるよ あいつにかみつくために
ああ 目玉がホラ 飛び出しても気にしない
ああ 追いかけるよ あいつにかみつくため
ああ 頭蓋骨が つぶれても気にしない

2. Zの衝動

もう2週間 何も食べずにさまよってる
もう3週間 何も食べずにさまよってる

俺は食っているのだろうか?
俺は食っているのだろうか?

内臓をたれ分けして
胃なんてとっくに腐っちゃってるので

ああ 叫んだら下アゴが
外れちまた!

臓器なんて 何もないのに
俺は食っているのだろうか?

臓器なんて 何もないのに
この衝動は 何なのだろうか?

これは分子レベルの話なのさ

君は今やエネルギーのかたまりなのさ
君は今やエネルギーのかたまりなのさ
(死んでいるのにね)
(死んでいるのにね)
(死んでいるのにね)
(死んでいるのにね)

3. Zの捕獲

Zを捕らえろ!
Zを捕らえろ!
Zを捕らえろ!

生きのいいやつを!
生きのいいやつを!
バン!バン!バン!

打つな! 打つなよ!
頭を打ってはならぬ!
頭を打っちゃいかん!

生け捕りにするのだ!
生け捕りにするのだ!
生け捕りにするのだ!
生け捕りにするのだ!
捕獲せよ 捕獲せよ
生け捕りにするのだ
(すでに死んでいますが)

捕獲せよ捕獲せよ
生け捕りにするのだ
(すでに死んでいますが)

捕獲せよ捕獲せよ
生け捕りにするのだ
(すでに死んでいますが)

捕獲せよ捕獲せよ
生け捕りにするのだ
(すでに死んでいますが)

捕まえてカプセルに入る
捕まえてカプセルに入る
捕まえてカプセルに入る
捕まえてカプセルに入る

私は妻と子供を かじられてしまったのだ
だがこれは 復讐ではない

エネルギー革命なのだ!

我々は逃げてはいけないのだ

一度壊滅した研究所を 再建し
私はこのシステムを 開発したのだ

この悪魔のシステムを
この悪魔のシステムを
この悪魔のシステムを
この悪魔のシステムを

4. Zの恋衣

(この悪魔のシステムを)

何も考えてないなんて
そんなことはないよ

微弱な電流さえも 検出できないからって

心と体は別だって きっと知らないのね

脳みそなんて どうでもいいの
あたしはあなたを 追いかけてる

両目が飛び出た あたしでも
あなただけは よく見える

あたしが死んでいるのなら
この気持ちは 一体何?

あなたは 脳みそに夢中
あたしは あなたに夢中だよ

群れに紛れてあなたのこと
いつも見ているよ

少し汚れた この体も
洗えばきっと マシになる

群れに紛れて あなたのこと
いつも想ってるよ

両目が飛び出た あたしでも
あなただけはよく見える

あたしが死んでいるのなら

この気持ちは一体何?
この気持ちは一体何?
この気持ちは一体何?

5. Zの実用

うわさは聞いたことが あるだろう
Zをエネルギーにしようとしている イカれたヤツ

世界中をZが席巻し
もはやエネルギー不足の心配はないのにな

コロニーのエネルギーを
Zでまかぬとは イカれた発想だ

一度死んで今度は物質として動き出す
一度死んで今度は物質として動き出す

人間の脳にあるナントカという物質に反応し
急速に引き寄せられる

この力をエネルギーとして利用しよう という
わけだな わけだな

笑い話だが最初やつは
Zに自転車をこがせようとしたらしい
Zに自転車をこがせようとしたらしい

体がすべて朽ち果てて
脳だけ残った場合
そこに何があると思う?

そこにはただ欲求のみが残るんだとさ

本当かね?本当かね?

エーコダの研究所の中では

約300体のZがひたすら走り続けている
約300体のZがひたすら走り続けている

それは動きを止めなかつた
選ばれしZたちなのだ

それは動きを止めなかつた
選ばれしZたちなのだ

6. Zの欺瞞～Zの曇天

意識があるという説があるのをご存じか?

「知ってる根拠は何か?
彼らは死んでいる」

あの動きはどう見ても生物の動きではないか?

「彼らは一度死んで生き返った後でも
言いたいのか?

生体反応は確認できない

ロボットでも同じ動きをさせることはできるだろう

Zは永久に動き続けるのか?

「反応は常に同じだ
永久かどうかは今後の研究課題だが
すべての人がかまれて死んだ後に
Zになるわけではない
私の妻と子供はそのまま死んだ」

Zが新人類だという説は?

「仮説にすぎない」

現象にウイルスが関係しているという説は?

「仮説にすぎない」

Zをエネルギーとして利用することに
倫理的な問題はないのか?

「彼らを別次元の生命体だとするなら
おそらく生命力の強い家畜ということになるかも
しないだろうが
生体反応がない以上
彼らはエネルギーを出す自然のロボットであろう
もちろん代謝も見られない
脳の何とかという物質に
吸引される何とかんとかという物質がカギとなるが」

世界ではZをあがめるカルトも出現しているようだが?

「信仰は自由だろう

信仰は自由だろう
これはエネルギーの革命なのだ

エネルギーの革命なのだ

エネルギーの革命なのだ

エネルギーの革命なのだ…」

内臓ドバー 目玉がビヨーン
うめき声も かっこいいじゃん
Z、Z、Z、Z、Zが最高!
Z、Z、Z、Z、Zが最高!

Zにかまれたら Zになれる
Zにかまれたら Zになれる

Z、Z、Z、Z、Zが最高!
Z、Z、Z、Z、Zが最高!
灰色の窓から 暗い外が見える
もう長い間 窓を開けていないなあ

外界の声が うるさくて
いつからか耳を ふさいでいたのさ

本当はわかっている本当はわかっている

そして私は

窓を開けた…

7. Zの悲観

ガラス窓の向こうには
Zが走っている

洗浄済みのZは どこか生々しくみえるけど
どこか生々しくみえるけど

洗浄前に比べれば
ずっと マシってもんさ

最近様子がおかしいZが 何体かいる
あれは一体なんだ
あれは一体なんだ

僕は 知っている

あいつら死んじゃいないのさ
あいつら死んじゃいないのさ

博士は嘘ばかり
博士は嘘ばかり

研究者はみんな嘘ばかり

何ができるだろう
嘘ばかりの世界で

なにができるだろう
絶望の世界で

またカプセルが 補充されてきた
洗浄水は 赤黒く汚れていた

僕も死んだ後に
ああやって ゴムのかたまりを

追いかけて 走っているのかな?
いるのかな?

右も左も わからなくなって
うめき声をあげながら

全く空しくなってくるね
僕はいつまで我慢できるだろうか

いつかこの ゲートを開放して
僕は こう言うのさ

ほら 来いよ

ほら 来いよ

僕の脳みそを
ほら お食べ

ほら 来いよ
ほら 来いよ

僕の脳みそを ほらお食べ

ほら 来いよ ほら 来いよ
ほら 来いよ ほら 来いよ…

8. Zの隨想

私の体は洗浄されて
少し気分がいいね

大きなコンペアの上で
みんなで 追いかけてるの

あの脳みそが 偽物だって
気づかないのかな

あなたはにせものに夢中
あたしはあなたに夢中

いつかあたしのことを 振り向いてくれないかな
いつかあたしのことを 抱きしめてくれないかな

この頃あたしは 思い出すの

あなたを追いかけながら あの日見上げた
あの空をあの雲を

あたしはここに あなたを見つけたよ
輝くたくさんの 星の中から

あなたも早く あたしを見つけてよ
あたしはあなたの すぐうしろ

ここに居るよ

追いかけるのをやめない
あなたを 見ていると

あたしは 少しだけ 悲しくなってしまうの	俺はもはや 歩いているが いずれ 立ちどまってしまうだろう
これでいいの あなたが望むなら ホントにいいの はしゃぐあなた	俺は誰だ? 俺は何だ? 俺は誰だ? 俺は何だ?
これでいいの? これでいいの? これでいいの?	俺は何だ? 俺は何だ? 俺は何だ? 俺は何だ? 俺は、、、
この気持ちは 一体何?	
9. ズの前夜	11. ズの解放
instrumental	(この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?)
10. ズの覚醒～ズの処分	
目の前にいる 目の前にいる	様子のおかしいズの 処分命令が出た 動きを止めた 数体のズ
ころがってるようで 弾む感じ	6体目を 処分したら 別の1体がおかしい
追いかけるのさ (脳みそを)	(この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?)
追いかけるのさ (脳みそを)	(この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?) (この気持ちは一体何?)
追いかけるのさ (脳みそを)	もう嫌だ!もう嫌だ!もう嫌だ! もう嫌だ!もう嫌だ!
もう少しのところでいつもすり抜けていく	僕は 決めた!
追いかけるのさ 追いかけるのさ 追いかけるのさ…	このクソみたいなシステム 僕が 壊してやる!
なんだってこんなに フラフラするんだ	解決方法を僕は知ってる
なんだってこんなに フラフラするんだ	みんなズになればいいのさ みんなズになればいいのさ
今日は 何曜日だっけ? 今は何時だ?	"ゲートヲ開放シマシタ" "ゲートヲ開放シマシタ" "ゲートヲ開放シマシタ" "ゲートヲ開放シマシタ"
俺は誰だ? 俺は何だ?	僕の脳みそをお食べ 僕の脳みそを…!
俺は誰だ? 俺は何だ…	
波の音が 聞こえるようだ 俺の頭に 風が吹く	
意識の光を 感じるようだ 意識の光を感じるようだ	
何が起こっているのか? 何が起こっているのか?	

I2. Zの逃亡～Zの悲恋

バカなことをしたものだ
逃した約300体のZ

地下倉庫の 予備カプセルの
Zまで開放しやがった！

洗浄済みのがZが 300体
未洗浄のZが 約2000体

コロニーを壊滅させるのに十分な数だ

このコロニーはもう終わりだ
このコロニーはもう終わりだ

私は避難して 別のコロニーへ
避難して 別のコロニーへ

壊滅すれば どうせ皆Zだ
壊滅すれば どうせ皆Zだ

コロニーごと爆撃しまえ！
コロニーごと爆撃しまえ！
コロニーごと爆撃しまえ！
コロニーごと爆撃しまえ！

タイミングを見てやってしまえ
タイミングを見てやってしまえ
タイミングを見てやってしまえ
タイミングを見てやってしまえ
タイミングを見てやってしまえ
タイミングを見てやってしまえ
タイミングを見てやってしまえ…

(この気持ちは一体何?)

はぐれたわけじゃない
広がる 黒い海

なまぬるい風が 体をひきさく
ああ あたしはあなたが好きだった
ああ あたしはあなたが好きだった

痛みも感じない
腕を切っても きっと平気

ゆがんだ景色が あたしの周りで
フフ フフ…

鉛色のクサリが 体に巻き付く
飛び出た岩場が 骨を碎く

そのときまで
そのときまで

ああ あたしはあなたが好きだった
ああ あたしはあなたが好きだった
ああ あたしはあなたが好きだった
ああ あたしはあなたが…！

I3. Zの爆撃

instrumental

I4. Zの驚愕～Zの恋衣(エンディング)

子供の頃に私は
この辺りで遊んだものだ

面影はすでに
何もなくなってしまったけれど

あの丘の向こうには
家族の思い出の地があるのだ

私の妻と子どもは Zにはならず死んでしまったけど
Zになるよりは きっと
幸せだっただろう…

レベルの高い我々が Zを支配するのだと
生きているか死んでいるかなど

あまり関係はないのだ

コロニーごとの爆撃は
成功だったようだ

もともと人間だったとしても

今は低レベルの Z
支配される側の Z
何も考えてない Z
たださまようだけの Z
ただ垂れ流すだけの Z
何も考えてない Z
支配される側の Z…

コロニーの墓場で静かに眠れ Z
コロニーの墓場で静かに眠れ Z
コロニーの墓場で静かに眠れ Z
コロニーの墓場で静かに眠れ Z

コロニーの墓場で静かに眠れ
Z…

…！ ん!?

ん!?

ん?

「わあ！ この気持ちは一体何？」

わあああああああ!!!!

何も考えてないなんて
そんなことはないよ

微弱な電流さえも
検出できないからって

心と体は別だって きっと知らないのね
脳みそなんて どうでもいいの

あたしはあなたを 追いかけてる

両目が飛び出た あたしでも
あなただけは よく見える

あたしが死んでいるのなら
この気持ちは 一体何?

あなたは 脳みそに夢中
あたしは あなたに夢中だよ

群れに紛れて あなたのこと
いつも 見ているよ

少し汚れたこの体も 洗えばきっとマシになる
群れに紛れてあなたのこと いつも想ってるよ

両目が飛び出たあたしでも
あなただけは よく見える

あたしが死んでいるのなら

この気持ちは一体何?

この気持ちは一体何?

この気持ちは一体何?